

令和6年度 第2回運営協議会議事録

開催日: 令和5年 11月 25日(月) 14:15~15:25

於: プレゼンテーションルーム

出席者: 【委員(50音順、敬称略)】

黒田 浩継、新納 孝啓、田中 正視、林 洋平

【事務局員】

長岡校長、田中教頭、宮武首席、井戸本首席

【学校関係者】

各分掌長、学年主任、初任者

1 連絡及び報告事項

本校の教育活動について

- ・今年度末の入試からオンライン出願、デジタル採点が開始。これに向け、泉南市内4中学校と連携して各中学校から4人分のサンプルデータをいただき試行を行う連携をしている。
- ・生徒は11月になり4月のときより落ち着いて机に向かっている。先日泉南市内の小学校で本校在籍の卒業生をゲストティーチャーとし高校の生活について教えるキャリア教育に参加した。
- ・生徒の学外との交流について
国際交流の新しい取り組みとして、海外に行くことなく、多文化交流ができる形態として、大阪市内にある公益財団法人大阪国際交流センターと協働した活動を実施した。生徒が11人参加し、スペイン、台湾から渡日し日本で活躍している方と文化交流を行った。海外にいかなくてもできる国際交流の新しい形で、希望する生徒が他国の文化や食について触れることができ、昨年度、WEBによる学校交流に参加した生徒からも評価は高かった。
- ・バスケットボール部が泉南ロングパークで泉南市職員のチームの一員として参加した。泉南市長も参加していた。
- ・近隣小学生を対象とした科学実験教室を夏季休業期間中に実施した。液体窒素を使い風船やバナナを凍らして検証する等行った。
- ・泉南イオンでの泉南署と協働した安全周知活動や、イベントホールでのコンサート、化学実験教室に参加した。
- ・今後も、泉南イオンのレストラン街で本校生徒が立案したメニューの提供も昨年度に引き続き実施する。

2 授業見学

2年生の数学Ⅱで「微分法・方程式不等式」の内容を見学

首席より、指導案を用いて内容を説明後教室に移動した。

《質疑応答・ご意見》

- ・(新納氏) 教員作成の教材プリントを使用して授業が進行していたが、教員がきめ細かく生徒の反応を見ながらやり取りを行っていた。細分化して説明しておりわかりやすくなっていると感じた。
 - ・(田中氏) それぞれの生徒との関係ができていくことが伝わってくる授業であった。教室の楽しい雰囲気を見せていただいた。
 - ・(黒田氏) 教員が大きな声でわかりやすく解説されている。気になる点として、生徒たちは解き方は覚えているが意味合いがわかっていないように見える。なぜ、微分法を学んでいるか本質的なところが必要だと思ったが、生徒の満足が伝わるとても良い授業だった。
- (首席) 基礎学力の定着度合いによって、数学的な解釈まで理解することに難しさがある生徒が一定数いる。意味合いを教えて理解させるのが理想であるができないところがある。意味合いにもあえて深く触れずに教えているのが現状。
- (林氏) 昨年度も同時期に、この学年の授業見学をしたが、1年のときより態度が良くなっており、真剣に授業を受けている。先生もどんどん進めるのではなく、少しずつ確認しながら進めている。生徒を見ると、わからない生徒がいても教えあいながらしている様子も良かった。